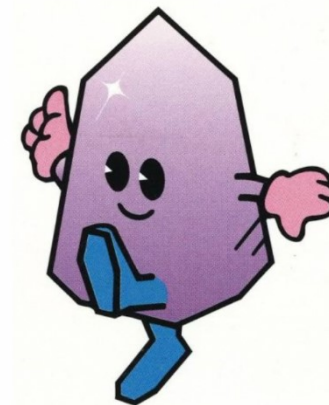


第1回高等学校改革懇談会資料 (石川)



菜ノ



キララちゃん

令和4年7月27日(水) 14:00 ~ 15:30

石川高等学校 会議室

福島県教育委員会

本日の進め方

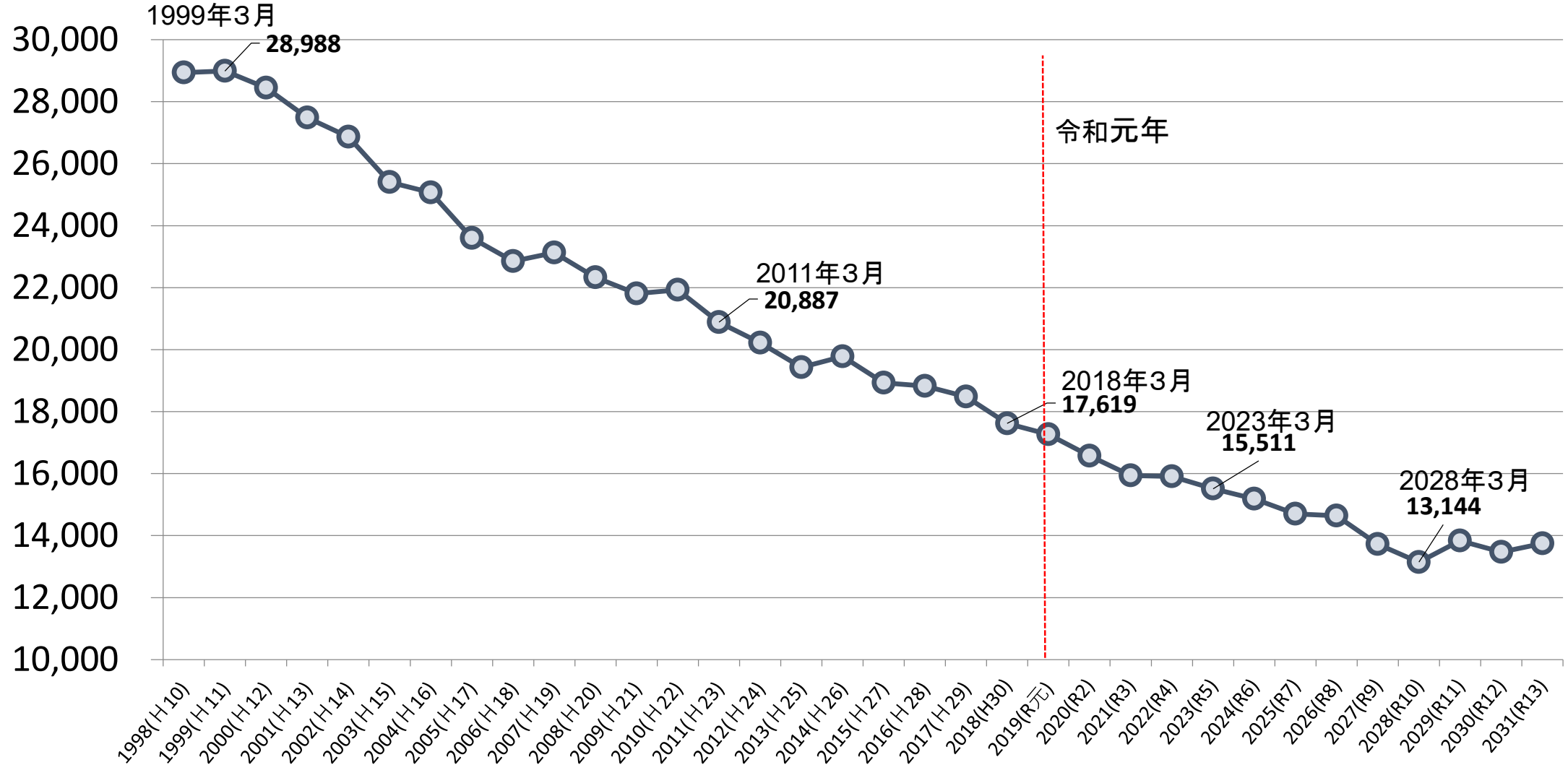
I	県立高等学校改革基本計画及び後期実施計画策定の経緯
II	石川高校における現在の状況
III	今後の方向性について

I

県立高等学校改革基本計画及び 後期実施計画策定の経緯

少子化の進行（中学校卒業見込者数の減少）

中学校卒業（見込）者数の推移（人）

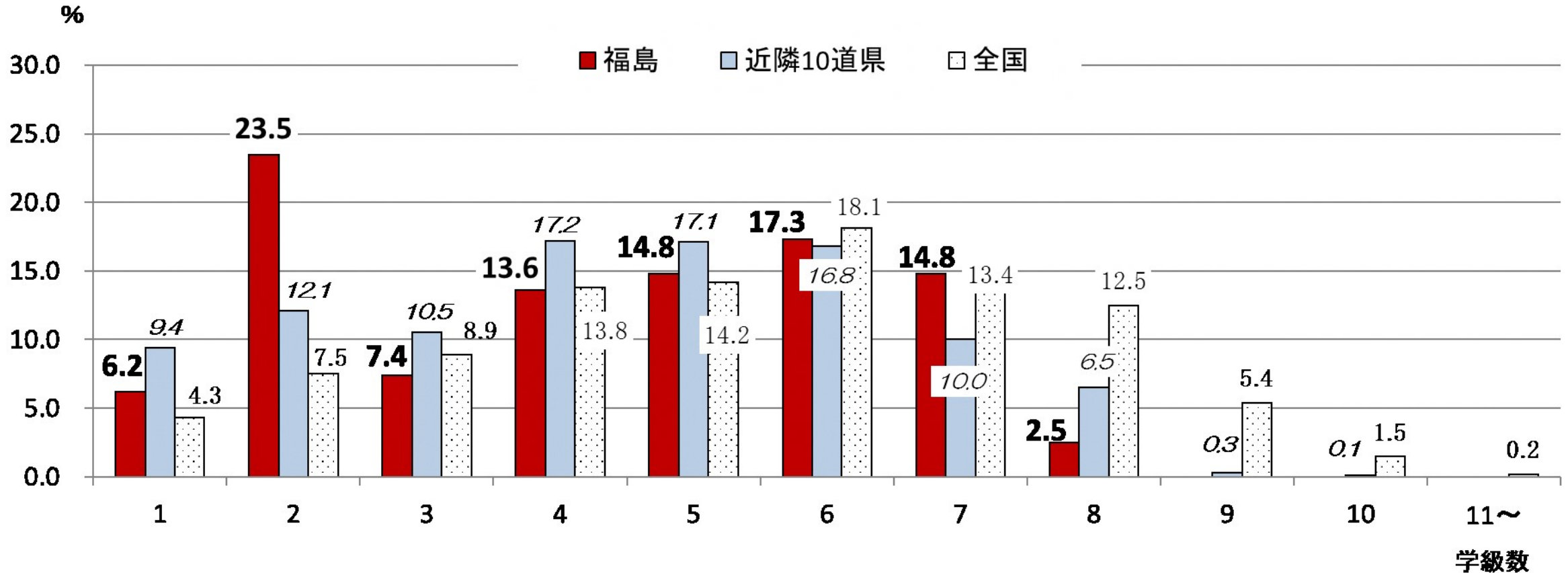


出典：2017年（平成29年）までは福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。
 2018年（平成30年）3月～2026年3月までは同調査における各学年の在籍者数をもとに作成。
 2027年3月以降は同課提供「福島県の推計人口」（2017年4月1日現在）の各年齢別のデータをもとに作成。

（年3月卒業）

県立高等学校の小規模校化

1学年当たりの学級数で見た学校規模の比較（福島県・近隣10道県・全国）



分校を含む2018年度（平成30年度）都道府県立局等学校全日制課程の募集定員。近隣10道県は、北海道、本県を除く東北5県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県。

本県の高等学校教育を取り巻く様々な動き

本県をめぐる社会情勢の変化

- 人口の減少・**少子化のさらなる進行** (中学校卒業予定者が10年間で約5,300名減少)
- 過疎化・高齡化 (地域コミュニティの維持が課題)
- 高等学校教育を取り巻く状況の変化 (主権者教育の重要性、大学入学共通テストの導入)
- **高等学校の小規模化** (3学級規模以下の高校の増加)
- 生徒の学習ニーズの多様化 (学ぶ意欲や目的意識、興味、関心、進路指導の多様化)
- 東日本大震災と原子力災害からの復興・再生
(本県の復興に携わりたいという思いの芽生え、福島イノベーション・コースト構想の推進)

高等学校改革が必要

県立高等学校改革計画「**第一次まとめ**」(平成9年)・「**第二次まとめ**」(平成11年)

福島県学校教育審議会 2017年(平成29年度) 答申
「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」



県立高等学校改革基本計画の策定 平成30年 5月
(令和元年度～令和10年度) 10年間

県立高等学校改革**前期**実施計画 (令和元年度～令和5年度) 5年間

県立高等学校改革**後期**実施計画 (令和6年度～令和10年度) 5年間

県立高等学校改革の基本方針

基本理念

「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくりを推進すること」

【4つの基本方針】

基本方針 1 **社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む
高等学校教育の推進**

基本方針 2 **多様な学習内容の確保及び教育の質の向上**

基本方針 3 **学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化**

基本方針 4 **過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の
向上**

基本方針3 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化より

県立学校の再編整備の考え方

○ 学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模

1学年4～6学級

1学年3学級以下の高等学校については、学校の魅力化を図りながら都市部も含めて統合を推進

○ 望ましい学校規模への再編整備の推進

同一市町内や隣接する市町にある複数の学校のいずれかもしくは双方の学校が望ましい学校規模を維持できない場合に統合を推進
望ましい学校規模の中で可能となる魅力化の推進

基本方針3 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化より

生徒の学びのニーズや進路希望に応じた県立学校（全日制課程）の特色化

- 進路希望に応じた特色ある高等学校の配置
- 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- 学校の特色化と情報発信

6つの学校群

進学指導拠点校

進学指導重点校

キャリア指導推進校

地域協働推進校

職業教育推進校

定時制・通信制高校

過疎・中山間地域の県立高等学校の例外的措置

○ 過疎・中山間地域の学習機会の確保

地理的条件や公共交通機関の状況等から統合により近隣の高等学校への通学が極端に困難になる場合や地元からの入学者の割合が著しく高い場合、1学級本校化等の例外的措置を行う。

前期実施計画の進捗

再編整備等

学校名	実施年度	統合校名/再編等の方向性 (学科・学級数)
安積・御館校	R2	募集停止
修明・鮫川校	R2	
川俣	R2	1学級本校化
猪苗代	R2	
只見	R2	
喜多方	R3	喜多方 普通・5
喜多方東		
小名浜	R3	小名浜海星 普通・1 商業・1 水産・3
いわき海星		

学校名	実施年度	統合校名/再編等の方向性 (学科・学級数)
須賀川	R4	須賀川創英館 普通・6
長沼		
大沼	R4	会津西陵 普通・4
坂下		
湯本	R4	いわき湯本 普通・6
遠野		
相馬東	R4	相馬総合 総合・5
新地		
保原(定時制)	R4	ふくしま新世 普通・1
福島中央		

学校名	実施年度	統合校名/再編等の方向性 (学科・学級数)
梁川	R5	伊達 普通・6
保原		
二本松工業	R5	二本松実業 工業・3、家庭・1
安達東		
白河実業	R5	白河実業 工業・5、商業・1
塙工業		
修明	R5	農業科の集約 文理・1、農業・3、 商業・1
耶麻農業	R5	会津農林 農業・4
会津農林		
田島	R5	南会津 総合・3
南会津		

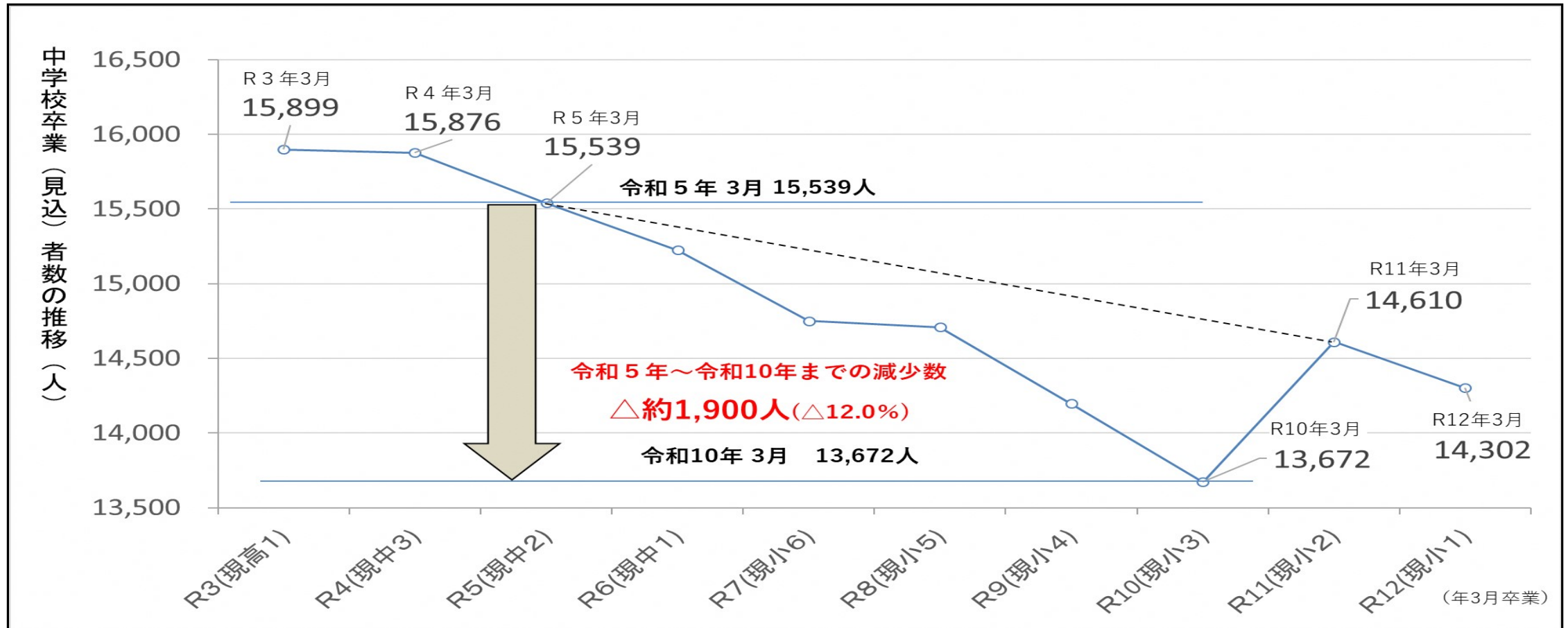
特色化・魅力化の取組状況

- 単位制を5校に導入
- 教育プログラムとしてのコース制を18校に導入
- コミュニティ・スクールを6校に導入
- 地域コーディネーターを3校に配置
- 統合校と1学年1学級規模の本校に優先的にICT機器を配置

後期実施計画の内容

さらなる少子化の進行

- 令和12年3月までの中学校卒業見込者数の推移（全県）



出典：令和3年3月は福島県企画調整部統計課編各年度の「学校基本統計（学校基本調査報告書）」から作成。
令和4年3月～令和12年3月までは同「学校基本統計（学校基本調査報告書）」における各学年の在籍者をもとに作成。

高等学校教育の質的向上に向けて

- **Society5.0の時代に必要な資質・能力を身につけた人材の育成**
- **「福島ならではの」教育の充実**

県立高校の特色化

- **STEAM教育などの教科横断型学習の充実**
- **特色ある学科の設置**
- **地域との連携の強化、探究的な授業の展開**
- **統合校における特色ある教育の推進**
- **新たな併設型中高一貫教育校の設置**
- **普通科におけるコース制（教育プログラム）の推進**
- **職業系専門学科の充実**

期待されるミッションや育てたい生徒像を整理し
6つの学校群に位置づける

進学指導拠点校
進学指導重点校
キャリア指導推進校
地域協働推進校
職業教育推進校
定時制・通信制高校

高等学校教育の質的向上に向けて

後期実施計画期間中の再編整備

学校名	令和5年度の学科 1学年当たりの学級数		実施予定 年度	再編の方向性 (学科・学級数)	
	学科	学級数		学科	学級数
福島西	普通4	5	R9	探究(仮称)1	6
	デザイン科学1			デザイン科学1	
福島北	総合	4	R8	総合4	4
船引	普通	3		総合	
小野	総合	2		総合	
平商業	商業	4	R8	商業4	5
四倉	普通	2		情報1	
いわき総合	総合	5	R7	総合	6
好間	普通	2		総合	

1 学級本校化

学校名	令和5年度の学科 1学年当たりの学級数		実施予定 年度	方向性	
	学科	学級数		方向性	学級数
石川	普通	2	R6	普通	1

Ⅱ

石川高校における現在の状況

石川高校入学状況（平成24年度～令和4年度）

学科名\年度		24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	
普通科	募集定員	120				80							
	入学者数	102	92	107	71	76	73	71	59	75	58	53	
	充足率 (%)	85.0	76.7	89.2	88.8	95.0	91.3	88.8	73.8	93.8	72.5	66.3	

石川高校の主な出身中学校の在籍者数と割合

各年度学校要覧より

中学校名	R元	R2	R3	R4	過去4年間の平均 (人)
石川中	68	74	74	68	71.0
玉川中 (泉中・須釜中)	26	29	27	27	27.3
ひらた清風中	23	16	15	14	17.0
浅川中	3	6	8	9	6.5
古殿中	27	26	23	26	25.5
石川郡以外の中学校	50	50	39	36	43.8
全生徒数	197	201	186	180	191
全生徒数に占める石川中からの生徒の割合 (%)	34.5	36.8	39.8	37.8	37.2
全生徒数に占める石川郡の生徒の割合 (%)	74.6	75.1	79.0	80.0	77.2

石川高等学校の概要

(1) 教育課程①

選べる4つのグループ

石川高校で**体験**する。



「いしかわWORK & LIFE教育」における、企業での体験的実習「キャリアチャレンジ」を通して、社会人として必要な精神や能力を積極的に学びます。



キャリアグループ

石川高校で**学ぶ**。



石川高校では卒業後の進路に応じてコースを選択できます。大学や短期大学、看護学校などの医療系上級学校への進学を目指すコースと就職・専門学校進学に向けて基礎学力を身につけるコースがあります。



発展学習
グループ



学力向上
グループ

石川高校で**取得**する。



パソコンの操作方法等の社会に出るために必要な知識・技能を学びます。ビジネス文書検定・情報処理検定等の資格取得ができるよう全力でバックアップしていきます。



技能向上グループ

(2) 「いしかわWORK&LIFE教育」

Point
01

キャリアチャレンジ

「キャリアチャレンジ」は、週に1日、事業所で就業体験を行う授業です。2年次は半年で事業所を変え、1年間に2か所、3年生は1年間同じ実習先での実習となります。多くの事業所に協力していただいております。製造からサービス、自動車整備や役場など、職種は多岐に渡っています。就業体験を通して、働くことの楽しさや厳しさ、やりがいなどを学びます。



Point
02

地域課題探究活動

まちなか歩きやグループワーク、活動成果発表を通して、石川町のまちづくりについての探究活動を行っています。石川町の強みを活かしたり、課題に対して自分たちにできることを考えたりする授業により、自ら考える力や実践する力を身につけます。



石川高等学校の概要

(3) 進路状況(過去3か年)①

進路先		令和元年度		令和2年度		令和3年度		3か年の 合計人数	3か年の 平均割合
		人数	%	人数	%	人数	%		
進学	国公立大学	1	1.5	0	0.0	0	0.0	1	0.5%
	私立大学	5	7.4	7	10.4	4	7.4	16	8.5%
	私立短期大学	3	4.4	1	1.5	2	3.7	6	3.2%
	専門学校	18	26.5	18	26.9	15	27.8	51	27.0%
	小計	27	39.7	26	38.8	21	38.9	74	39.2%
就職	県内	37	54.4	38	56.7	29	53.7	104	55.0%
	県外	4	5.9	3	4.5	4	7.4	11	5.8%
	(公務員)	(3)	(4.4)		0.0	(1)	(1.9)	0	0.0%
	小計	41	60.3	41	60.3	33	48.5	115	60.8%
	その他	0	0.0	1	1.5	1	1.9	2	1.1%
	合計	68	100.0	67	100.0	54	100.0	189	100.0%

(3) 進路状況(過去3か年)②

○ 過去3か年の進学先(大学・短大・専門学校)

福島大学、医療創生大学、郡山女子大学、東日本国際大学、
流通経済大学、十文字学園女子大学、尚絅学院大学、
聖徳大学、東北福祉大学、日本大学、福島学院大学

いわき短期大学、郡山女子大学短期大学部、川口短期大学
福島学院大学短期大学部、仙台青葉学院短期大学

白河厚生総合病院附属高等看護学院、郡山健康科学専門学校
国際医療看護福祉大学校、しらかわ介護福祉専門学校、
福島県立テクノアカデミー郡山、国際情報工科自動車大学校 他

(3) 進路状況(過去3か年)③

○ 過去3か年の就職先(公務員、一般企業他)

玉川村役場、自衛官候補生、自衛隊一般曹補生

(株)八幡屋、(株)お菓子のさかい、水谷工業(株)
白河信用金庫、住友ゴム工業(株)白河工場
ニプロファーマ(株)鏡石工場、日本精工(株)福島工場 他

石川高等学校の概要

(4) 部活動



音楽部



華道部



弓道部



茶道部



女子バレーボール部



卓球部



テニス部



バスケットボール部



パソコン部



美術部



野球部



陸上競技部

Ⅲ

今後の方向性について

(1) 石川高校について

福島県教育委員会の方針

前期実施計画における
過疎・中山間地域の学習機会確保のための例外的措置

地元からの入学者の割合が著しく高い

令和6年4月より

普通科の1学級本校化
地域協働推進校

コミュニティ・スクールの実施

地域における
幅広い学びの確保

(2) 石川高校の方向性

1 学級本校化後の石川高校のイメージ図

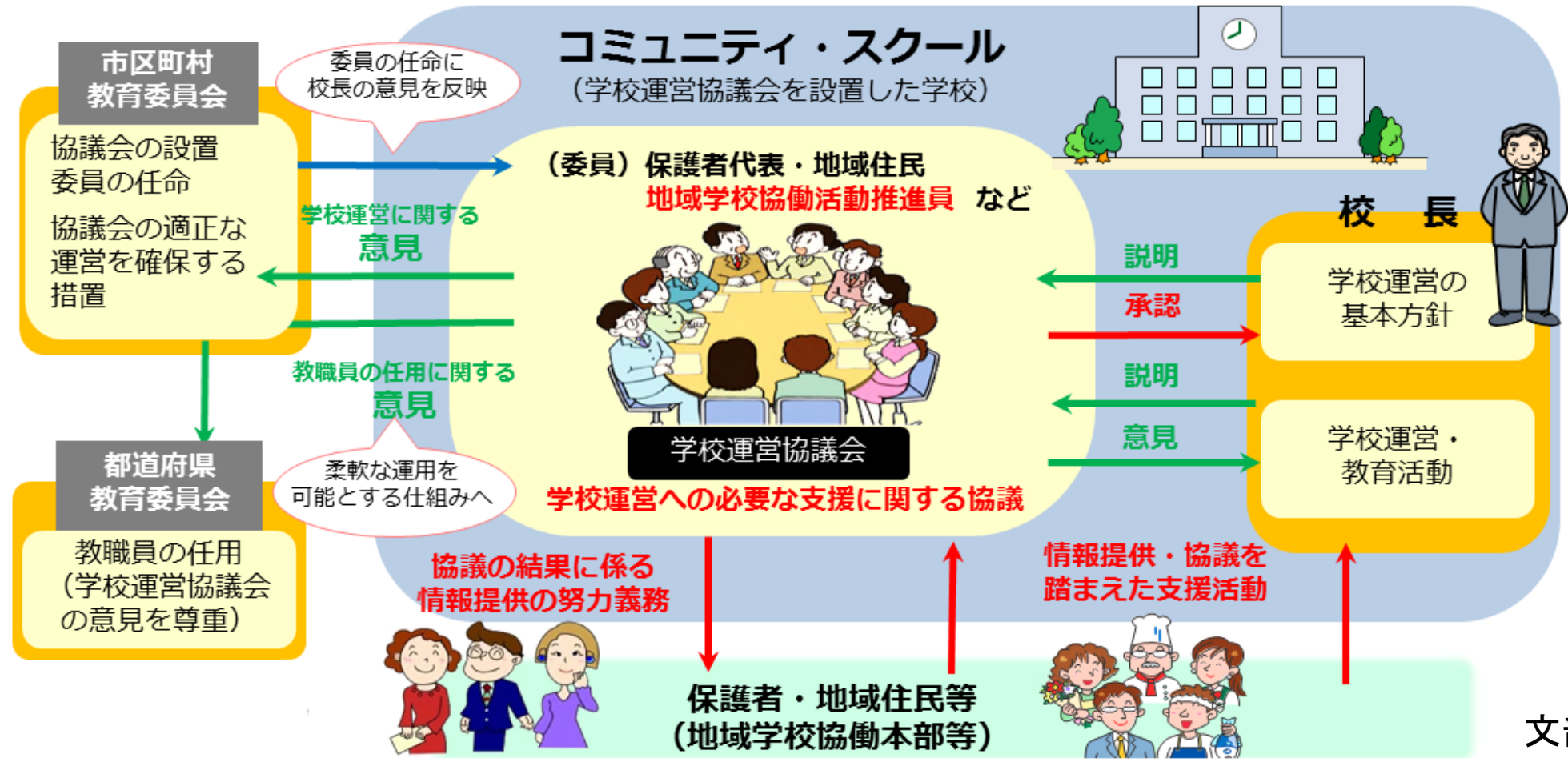
地域協働推進校

- 地域と協働した学校づくりの推進による教育活動の充実
- 生徒の進路希望に対応したキャリア教育の実践
- 地域創生の核となる人材の育成

- コミュニティ・スクールの導入
地域の声を学校運営に反映させ、地域との協働による教育活動の一層の推進を図る。
- いしかわWORK&LIFE教育（平成28年度～）
石川高校と石川町と地元事業者が一体となって、地域ぐるみで生徒の「キャリア」を育成するシステム

コミュニティ・スクール①

「学校運営協議会」を設置している学校のことで、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが参画できる仕組み。当事者として、子どもたちの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実することが可能となります。



文部科学省HPより

子供にとっての 魅力

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。



教職員にとって の魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。



保護者にとって の魅力

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。



地域の人々に とっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。





県立石川高校の新たな挑戦

いしかわWORK&LIFE教育



「いしかわWORK&LIFE教育」とは、県立石川高校が教育の一環として取り組む、生徒のキャリアアップと地域連携を目指すカリキュラムです。

その中でも、事業所実習を行う「キャリアチャレンジ」と、地域創造探究を行う授業の中で2年生が実践する「いしかわMOTTAINAIアクション」について、今月から連載していきます。

今回は、「いしかわMOTTAINAIアクション」について紹介します。

「いしかわMOTTAINAIアクション」は、2年生の全員が1年を通して取り組むプロジェクトです。身近にある「もったいない」に対して、4つの分野からアプローチし、町内のSDGs推進を図ります。

食材のMOTTAINAI

エネルギーのMOTTAINAI

環境のMOTTAINAI

時間のMOTTAINAI



県立石川高校キャラクター『菜ノちゃん』

「広報いしかわ6月号」より
(令和4年6月1日発行)

高校生とコラボレーションしたい企業を募集します!

現在、私たちと一緒に活動して下さる企業様を募集しています。

[活動内容例]

- ①会社の敷地に緑のカーテンを設置
- ②廃棄食材を活用した商品開発
- ③地域でのゴミ拾い、会社の花壇等の整備



その他にも高校生と取り組みたい活動、ご意見等お待ちしております。

関心のある企業様はこちら(県立石川高校 26-1656)にご連絡ください!

SDGsとは



貧困や教育、気候変動など、世界が抱える様々な問題を解決するために、国連が定めた17の目標のことです。全ての国々で協力し、「誰一人取り残さない」ことを誓って、2030年までに達成を目指しています。

初めまして県立石川高校2年 根本莉子です。

「いしかわWORK&LIFE」「いしかわMOTTAINAIアクション」の実施内容について広報を通してお伝えしていきたいと思っています。宜しく願います。





県立石川高校の新たな挑戦

いしかわWORK&LIFE教育



関根 紫乃さん
(県立石川高校2年)

実習先
社会福祉法人やまと会
愛恵自立支援センター
(古殿)

- 実習の中で大変、「辛い」と思ったときは、辛くないと思ってください。
- 実習の中で大変、「辛い」と思ったときは、辛いと思わないでください。
- 実習の中で大変、「辛い」と思ったときは、辛いと思わないでください。
- 実習の中で大変、「辛い」と思ったときは、辛いと思わないでください。



● 実習先では主にどんな仕事をしていますか？
● 主に障害や高齢者の補助など、施設利用者さんの活動のサポートをしています。

● 実習先で学んだことを今後どう生かしていきたいですか？
● 介護関係の仕事に就きたいと思っています。これまでの経験は必ず今後に生かせると思います。

広報いしかわ6月号から、県立石川高校で実施している「いしかわWORK&LIFE教育」の特集記事を掲載しています。
今回は、生徒が事業所実習を行う「キャリアチャレンジ」の取材で、石川町役場で実習を行っている根本莉子さん(2年)に、他の事業所で実習を行っている生徒さんと実習先企業の担当の方へインタビューをしていただきました。

● 学校の授業とキャリアチャレンジの違いは何かと思いますか？
● 学校の授業だけでは学べない、社会へ出るための知識を学べるのではないかと思います。

**愛恵自立支援センター
施設長 仁井 敬昭さん**
● 愛恵自立支援センターで「キャリアチャレンジ」を学んでいる生徒さん、どのような仕事をしていますか？
● キャリアチャレンジを受け入れたのはなぜですか？
● 「いしかわ」の仕事が、地域社会に貢献していると感じています。また、生徒さんたちが、自分たちの力で社会に貢献できることを目指しています。

「広報いしかわ7月号」 (令和4年7月1日発行)

今回、愛恵自立支援センター様、ユキ美容室様にはご多忙のところ、快く取材を受けていただきました。ありがとうございました。



実習先 ユキ美容室(古町)

本多 ゆなさん
(県立石川高校2年)

- 実習先ではどんな仕事をしていますか？
● 店舗の掃除、タオルたたみ、パーマやカラーを希望するお客様の準備、お直しなどをしています。
- 実習先で学んだことを今後の進路にどう生かしていきたいですか？
● 市かけなど徐々にできることが増えてきました。今後は、自分から仕事を覚悟して率先して動けるようにしていきたいです。

**ユキ美容室
店主 荒川 幸子さん**

- キャリアチャレンジを受け入れたのはなぜですか？
● 将来美容師を目指している生徒が多い美容師の受け入れ先がないというお話を聞いて、美容師を目指している生徒さんを見つけたと思い受け入れました。



● 実習先で学んだことを今後の進路にどう生かしていきたいですか？
● 市かけなど徐々にできることが増えてきました。今後は、自分から仕事を覚悟して率先して動けるようにしていきたいです。

- 実習の中で大変、「辛い」と思ったときは、辛くないと思ってください。
- 実習の中で大変、「辛い」と思ったときは、辛いと思わないでください。
- 実習の中で大変、「辛い」と思ったときは、辛いと思わないでください。
- 実習の中で大変、「辛い」と思ったときは、辛いと思わないでください。



根本 莉子さん
(県立石川高校2年)

取材を終えて...
キャリアチャレンジとは、普段の学校生活では学べない専門的分野の仕事を内習や、地域企業のことを詳しく学べる取り組みだと思います。
私は今回、石川町役場で実習生としての取材をしています。実習の中で広報の取材で自分の実習先以外の仕事も身近で見るのができました。また、実習生への取材を通して、働くことができました。さらに、実習先企業の担当の方のお話を聞くことで、その企業が仕事をすることで一番大切にしていることが何かや、どんなことに気を付けて仕事をしているかなどを知ることができました。

1 学級本校化に向けて検討する特色化の例

「いしかわWORK&LIFE教育」の充実

「キャリアチャレンジ」

地域課題探究活動
の充実

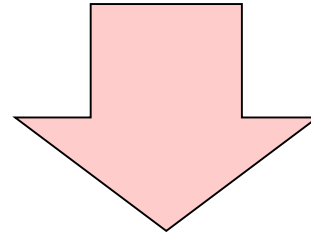
石川高校ならではの
地域資源を活用
した取組の推進

個に応じた
丁寧な学習及び
進路指導

近隣小中学校との
交流及び連携

1 学級本校化にあたって…

- **学校の更なる魅力化が必要**
- **学校と地域との更なる連携が必要**

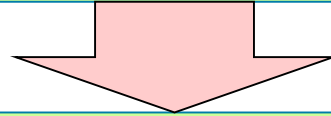


石川高等学校が、より魅力ある学校となるように地域の皆様と協議をしてみたいと思います。

改革懇談会後～1学級本校化への動き

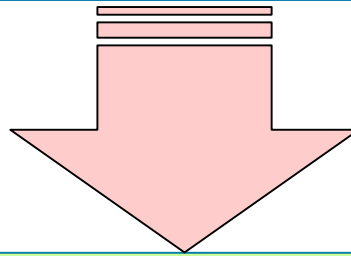
R4年
7月

- 県立高等学校革懇談会（本日）
 - ・ 1学級本校化についての説明
 - ・ 御意見の聴取（1学級本校化について／学校の魅力化について）



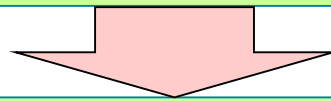
8月
以降

- 学校の魅力化に向けた取組の推進
- コミュニティ・スクール設置に向けた準備 他



R5年
10月

募集定員（40名）を公表（予定）



R6年
4月

1学年1学級本校化、コミュニティ・スクールの実施